

平成28年 第6回伊那地域協議会会議録

開催日	平成28年11月24日(木)								
開催時間	開 会	午後6時35分			閉 会	午後7時50分			
開催場所	伊那市役所 1階 多目的ホール								
委員の出欠  出席21名 欠席18名		委員氏名			委員氏名			委員氏名	
	1	板倉 倫顕	欠	16	伊藤 和義	出	31	岩本 庄平	欠
	2	守屋 武夫	欠	17	西澤 茂也	欠	32	高橋 陽子	欠
	3	伊藤 仁	出	18	藤澤 香澄	欠	33	唐木 由美子	出
	4	久保村 友保	出	19	若林 一雄	出	34	鈴木 優子	欠
	5	白鳥 始	出	20	池上 直樹	欠	35	平澤 澄穂	欠
	6	細田 幸一	欠	21	宮下 平治	出	36	武田 登	出
	7	中村 初治	出	22	畑 英城	欠	37	平賀 裕子	出
	8	宮下 信一	欠	23	中村 繁子	欠	38	小林 正	出
	9	中村 隆幸	出	24	小林 旬子	欠	39	井口 清吾	出
	10	伊澤 芳人	出	25	向山 昌江	欠			
	11	有馬 久雄	出	26	中村 良一	出			
	12	酒井 秋雄	欠	27	小池 弥生	出			
	13	林 典男	出	28	増田 良平	出			
	14	米窪 砂男	欠	29	細田 勇次	出			
15	平澤 徹	出	30	武田 禎祐	欠				
署名委員	伊藤 和義			平澤 徹					
条例第10条の規定により出席した者	なし								
市側の出席者	なし								
出席した事務局職員	地域創造課長 宮原 貴敏 地域振興係長 飯島 勝 地域振興係 橋爪 智美								
議 事	協議事項 (1) 平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金について (2) 伊那地域の課題等の解決に向けた提言書(案)について								
配布資料	資料 No.1 平成29年度伊那市協働のまちづくり交付金(案) 資料 No.2 伊那地域自治区提言書(案)								

## 1 開会

久保村、副会長により、開会する。

(欠席の報告)

## 2 あいさつ (会長より)

本日は来年度の交付金について、それからこれまで各グループで協議いただいた課題についてまとめの案が出ているので、字句の修正を含めてご検討いただき提言書としてまとめたい。

つづいて紹介だが、去る11月3日に新伊那市が誕生して10周年ということで、記念式典がいなっせで開催された。その時にいろいろな団体が感謝状をいただいたが、この伊那地域協議会も他の地域協議会と同様に感謝状をいただいた。感謝状は市役所の事務所に置いてもらうことにする。

## 3 会議録署名人の指定について

(会長)

会議録署名人に15番 平澤 徹委員、16番 伊藤 和義委員を指名する。

## 4 協議

(1) 平成29年度 伊那市協働のまちづくり交付金について

(事務局)

平成29年度 伊那市協働のまちづくり交付金について説明。

<質疑・応答>

(委員)

交付金は全部で1,500万円ということだが、配分の方法は以前にも話があったように伊那地区の人口が31,000人、長谷地区が1,800人ということで、基本額が100万あって残りの額は人口割りとなっているが、もう少し基本額を減らして人口割りの額を増やしてほしい。やはりバランスが悪いと思う。

(事務局)

28年度の事業の説明の際にもそういった意見をいただいたと思うが、ある程度一定額をそれぞれの地域協議会に配分することで、どの地域でも使える金額を一定額確保したいという中で、基本額を100万に設定している。人口割りの割合を強くしてしまうと、人口が少ない長谷や手良はかなり金額が減ってしまう。それぞれの地区で最低100万円は確保したいということで割合を決めているので、この金額でご理解いただきたい。

(会長)

人口が少ない地区でも 100 万円は確保できるように配慮をしてあるということである。

(2) 伊那地域の課題等の解決に向けた提言書(案)について

(事務局)

伊那地域自治区提言書(案)について説明。

<グループによる検討>

<グループによる検討結果発表>

(グループ 1) 「自治会と行政の事業年度統一について」

事業年度の統一について、文言の訂正と加除がある。「あるべき姿①区と行政とが連携をとりやすくなるため」とあるが、「とりやすくするため」に訂正をお願いしたい。それから一番下の段の、「地域住民が主体となっていくこと」これの②役員会(伊那地区区長会、ブロック会)とあるが、例えばブロック会と例えばを加えていただきたい。「行政が行うこと」①②がある。③を加えて各部署や外郭団体にも周知徹底を図るということを加えていただきたい。以上が市長への提言に関することである。

この会議に提言だが、事業年度を3ヶ月間延ばすときがある。4月に延ばすために3ヶ月間延びるが、その間経費等が掛かる。その際、まちづくり交付金を各地区に10万円ずつ配分することをお願いしたい。伊那地区24の区がある。移行するときの費用として各地区、金額は今概算で我々は10万円と算出してみたが、その費用をまちづくり交付金でお願いしたい。提言は以上である。

(グループ 2) 「自治会への加入促進について」

2班はまだ検討中である。

(グループ 3) 「竜東北部における公共施設の建設要望について」

提言書の内容、基本線は変わらないが、文言を整理して考えた。竜東北部においては県下有数の大規模校となる東部中学校が、十分な教育活動に活用できるということを中心として、地域住民の利用推進も目的とした体育館等の多目的施設の必要性がある。幅広く活用できるということで、体育館の建設から体育館等の多目的施設と変えた。それからそのためにはPTA・住民・区長会が一体となり、市議会議員も市全体や地元はもちろんだが、そういったところの理解や協力を得ていく。こうした事業の実現に向けて具体的・継続的な協議・検討が図られるようにプロジェクトチームを編成して取り組んでいくと、具体的な動きになっていくのではないかと思う。

(グループ 4) 「中心市街地活性化について」

4班は中心市街地活性化についてだが、あるべき姿のところの①②で②がもう一つでてきているので、こちらを③にさせていただいて、生活の場としても多目的にコミュニケーションできる駅前と変更していただきたい。また駅前となっているが、駅前ではなく中心市街地に変更していただきたい。それから解決策・提言の③だが、橋の上を一般名称だが伊那橋という固有名称に変えていただきたい。事務局の方から、住民が主体となることができることと行政が主体となることができることを考えてほしいということで、基本的には先程プロジェクトチームと言われた方がいたが、やはり地域住民と行政が協働することが真の公共であると考えて、それぞれ協働しながら、そういった組織・プロジェクトチームの中で役割分担として住民がやること行政がやることというふうに全体は一緒に進めていきたいと提言する。ただ、住民がやることと行政がやることに関しては改めてまとめて提出する。

(会長)

修正や追加を各班で出されていたので、終わりましたら事務局の方へわかるように書いて提出いただきたい。その他のことで全体を通して意見などいかがか。一つ上がってきたのは事業年度を統一するには年度を3ヶ月伸ばす必要があるのも、まちづくり交付金を10万円使わせてもらいたいという提言があった。

(事務局)

確認ですが、伊那地域協議会に配分された金額の中からということか。

(委員)

はい。

(事務局)

市からの配分額を増額するのではなく、伊那地域協議会に配分された金額の中からということになれば地域協議会で検討していただくことになるかと思う。市の方から増額ということであればすぐにお答えできないので、要望ということで承っておく。

(会長)

伊那地域には22区ある。合計で200万円以上が必要ということになるが、来年度の交付金の配分額が約360万円なので、残りはわずかとなる。これは、また検討が必要と思われる。

(事務局)

本年度から協働のまちづくり交付金という制度をスタートさせていただいており、それぞれの地域の活用状況等の様子を見る中で、議会の方からも随時検証をして何年か経った後には今後どうするのかということも言われているので、金額の増額ということに関しては検討が必要であるが、当面こうした形の中で進めさせていただきたい。事業年度移行の際

の10万円をプラスアルファで考えることについては、検討をさせていただくということでご理解いただきたい。総額の増額についても、活用状況も確認しながら検討していかなければいけない。伊那地区は今年度満額活用していただいているが、例えば地域の中で金額が足りないという話があれば、検討の材料として増額という線もあると思うし、あまり活用がないということになれば総額の減額という可能性もあるということでご理解いただきたい。

## 5 その他

### (事務局)

11月2日に伊那地域協議会で合併10周年の植樹をした。正副会長に出席をいただいて、タカトオコヒガンザクラを植樹した。植樹場所は、市役所東側道路沿いの敷地の中でプレートも設置してあるので、ご覧いただければと思う。

年末が近づいてきたので、各団体で役員の変更があると思う。伊那地域協議会の委員は各選出団体から選出していただいているが、基本的に個人の方に2年間ということで委嘱をさせていただいている。役職が外れたということであっても基本的には2年間お願いしたいのだが、選出団体の中で任期等の事情があるかと思うので、やむを得ない場合は委員の変更も有りうるかと思う。そうした場合は事務局の方へご連絡いただきたい。

### (会長)

その他にいかがか。

### (委員)

今回で第6回になるわけだが、あまり出てこない委員の方がいるが、事務局の方からももう少し会議に出てくるように指導をお願いしたい。あまり出席率が悪いようならば、他の方を頼むとか、名前だけあげられても、この中でも最初からずっとまじめに出席されている方もいるので、そういう人たちに対してもこの協議会に対しても失礼にあたるのではないかと思うので、やはりここはきちんとしていただきたいと思う。

### (会長)

要望としてお聞きし、お互いに心していきたいと思う。

## 6 閉会

### (副会長)

大変お忙しい中、また今日は大変寒い中ありがとうございました。以上をもちまして、第6回の伊那地域協議会を閉会とする。

本会議に会議録を作成し、会長及び会議録署名人において下記のとおり署名する。

平成28年11月24日

平成28年度 第6回伊那地域協議会 会議録

会 長

.....

会議録署名人

.....

会議録署名人

.....